

BSS ご加入ユーザーさまへ



# 2017 年度 機能追加・更新情報のご報告

# 目次

---

BSS ご加入ユーザーさまへ .....	1
目次 .....	2
<b>機能更新履歴</b> .....	3
2017/04/20 [7.708] .....	4
2017/06/29 [7.709] .....	5
2017/09/07 [7.710] .....	6
2017/11/01 [7.711] .....	7
2017/12/25 [7.712] .....	8
2018/02/15 [7.713] .....	9

## 機能更新履歴

---

更新履歴(障害報告も含め)は、

- ①Twitter 公式アカウント(@PCMAPPING)
- ②PC-MAPPING ユーザーのメーリングリスト
- ③HP の「機能更新履歴」

で公開されております。

(②③はある程度まとめて、おおよそ月に1回程度のペースで配信されています)

## 2017/04/20 [7.708]

- \* 表示モードからその内部に格納されている「レイヤー表示モード」を抹消する機能を追加。  
[プロジェクトエキスパート]-[表示モード]で、<現在のレイヤー表示モードを格納>ボタンを<レイヤー表示モードメニュー>ボタンに変更。  
このボタン押下で、
  - 選択表示モードに、現在のレイヤー表示モードを格納する
  - 選択表示モードからすべてのレイヤー表示モードを抹消するの 2 つのメニューを選択できる。
- \* [印刷]-[矩形ポリゴン指定による連続印刷]に関して、従来は矩形ポリゴンのサイズ等から回転方向などを自動調整していたが、これに加えて、
  - 右周りポリゴンの第 1 点目を紙の左下にしての回転を想定する
  - 右周りポリゴンの第 2 点目を紙の左下にしての回転を想定する
  - 右周りポリゴンの第 3 点目を紙の左下にしての回転を想定する
  - 右周りポリゴンの第 4 点目を紙の左下にしての回転を想定するオプションを追加した。
- \* [編集]-[レイヤー]-[ポリゴン 3DView 設定](コマンド: **Pol3DView**)を追加した。
- \* [編集]-[レイヤー]-[注記 3DView 設定](コマンド: **Text3DView**)を追加した。
- \* [印刷]-[整飾プロジェクトプレビュー]-[整飾プロジェクト印刷プレビュー設定]で、複数(最大 3 つまで)のプロジェクト(ベクタードキュメント)を整飾プロジェクトの指定のレイヤー枠に割り当てて表示、印刷できるようにした。

## 2017/06/29 [7.709]

- \* イメージ:[図法変換]-[画像の図法変換]に関して、ダイアログボックスの設定で外部ファイル(TIFF・NAI)を複数指定して同時に変換できるようにした。
- \* [作図]-[アーク作図・編集]-[円・円弧]での「3点指定の円弧作図(円周上の3点を指定)」において、既存の端点ノードにShiftキーでのスナップ、あるいは中ボタン(Ctrl+左ボタン)でのスナップした場合、そのアークを接線とする円弧を次の1点を指定することで作図する。  
中ボタンの場合は既存のアークと結合ノードを作って接続する。
- \* [作図]-[アーク作図・編集]-[アーク追加(直線+円弧)](コマンド:ArcAddLineArc)を追加。  
直線と円弧作図をスペースキーによって切り替えて連続作図を実行する。  
また、直線から円弧への移行時はその直線を接線とする円弧を作図し、円弧から直線移行時はALTキーを併用することで円弧終端の接線方向に直線を作図する。
- \* [ツール]-[UAVコース]-[UAV飛行計画コース CSV/AWN形式エクスポート](コマンド:ExportUAVCsv)を新設。  
UAVコース設計後、手編集したコースを(前景レイヤー)CSV/AWN形式に出力する。
- \* [ツール]-[UAVコース]-[UAV飛行計画コース 反転](コマンド:UAVCourseInv)を新設。  
UAVコース設計後、飛行計画コースを反転させる。
- \* [UAVコース設計]・[UAV撮影コース設計(レーザー点群)]ダイアログボックスで、
  - 連結後コースあたりの最大長をダイアログを出して、平均速度と滞空時間から算出できるようにした。
  - 撮影コースの方向に関して、現在値より90度単位で回転させるボタンを追加。
- \* [編集]-[TINと標高メッシュ]での地理院地図標高タイルデータの取り込みに関して、DEM5(ZOOM=15)に対応した。  
DEM5Aを優先し、なければDEM5Bを取り込む。
- \* 「ズームバー」に関して、マウス右ボタンメニューで、
  - 拡大率 X1 X2 X5 X10 の指定
  - 十字マークの On/Off
  - 距離ティックの On/Offを選択できるようにした。
- \* [ツール]-[断面図・縦断面図]-[断面図作成プロパティ]で、ポイントクラウド上での断面図生成に対応した。
- \* [印刷]-[整飾プロジェクトプレビュー]-[整飾プロジェクト印刷プレビュー設定]で、複数(最大4つまで)のプロジェクト(ベクタードキュメント)を整飾プロジェクトの指定のレイヤー枠に割り当てて表示、印刷できるようにした。  
また、縮尺を連動、比率指定連動、固定値を指定できるようにした。

## 2017/09/07 [7.710]

- \* [カラー変換]-[24 ビットカラー]で、CMYK 画像から RGB への変換で、従来は単純論理式での変換であったものを WindowsCodec カラープロファイルを使っての変換に対応した。
- \* [属性フィールドの設定]ダイアログボックスで、データベースリンクの「データベース」「フィールド」に関して、検索機能を追加(登録データベースやフィールド数が膨大な場合に適応)。
- \* [プロジェクトエクスポート]-[背景ピクチャー]パネルに取り込んだ複数データを、まとめてフォルダー指定で保存する際、元の背景ピクチャーが外部ファイルの場合は、元のファイル名、元の拡張子を使って指定フォルダーに保存されるようにした。
- \* [ファイル]-[エクスポート]-[GeoJSON データへのエクスポート]で、「エクスポートスキーマを使用する」オプションを追加。
- \* [ファイル]-[エクスポート]-[ベクトル(GeoJSON)タイル]で、「エクスポートスキーマを使用する」オプションを追加。
- \* [ファイル]-[システム環境]-[システム環境設定]-[操作 2]パネルで、「ワールドファイル読み込み時での座標系」の設定を追加。  
ワールドファイル自体には座標系の情報がないため、ここでの設定(※設定は EPSG コード)があればそれに従ってセットされる。  
現時点で対応している EPSG コードは、
  - 2443~2461:JGD2000 直角座標 1 系~19 系
  - 6669~6687:JGD2011 直角座標 1 系~19 系
  - 4612:JGD2000 経緯度座標
  - 6668:JGD2011 経緯度座標
  - 3857:Web メルカトルなど。
- \* [作図]-[アーク作図・編集]-[補間点指定円弧作図](コマンド:ArcArc)を追加。  
補間点を IP 点として、曲率半径を指定、もしくは BP(EP)点を指定して円弧を作図する。
- \* [作図]-[アーク作図・編集]-[アーク追加 ノード間](コマンド:ArcAddNode)を追加。  
ノード間に限定して、アーク(補間点なし)を作図する。
- \* [ツール]-[UAV コース]-[UAV 撮影コース設計(レーザースキャナー)](コマンド:UAVCourseSetup2)を追加。  
※レーザースキャナー搭載の UAV に特化した飛行計画設計ツール。
- \* [属性]-[属性照会]-[マルチレイヤー・マルチ要素属性照会](コマンド:MEImInq)を追加。  
指示点を含むポリゴンと検索範囲内のポイント、ノード、アークの属性リストを表示する。
- \* メニューにないコマンド:WriteProfile を追加。  
pcm.ini ファイルに指定のデータを書き込む。  
**【書式】WriteProfile△(セクション名)△(エンターキー)△(値)**

## 2017/11/01 [7.711]

- \* [ツール]-[UAV コース]-[UAV 撮影コース設計(カメラ撮影)](コマンド: [UAVCourseSetup3](#))を追加。  
※UAV(カメラ撮影)に特化した飛行計画設計ツール。
  - 比高一定でのサイドラップ、オーバーラップを算出
  - 中抜けポリゴンの回避ルート生成機能オプションあり
- \* 高 DPI 対応に関して、[ファイル]-[システム環境]-[システム環境設定]-[ルックアンドフィール]パネルで、
  - なし(仮想デスクトップでのスケーリング)…※従来通り
  - あり(PC-MAPPING によるスケーリング)を選択できるようにした。  
後者を選択した場合、Windows 仮想デスクトップでのスケーリングは OFF となり、ディスプレイ設定の拡大率に応じた表示処理が行われる。
- \* ツールバー、クイックバーのボタンサイズ、フォントサイズに関して、ピクセル値、ポイント数を 96DPI における論理ピクセル、論理ポイントとして解釈して、高 DPI の環境では、拡大率に応じてサイズを換算して表示するようにした。
- \* [ファイル]-[システム環境]-[システム環境設定]-[表示と印刷]パネルで、「ウィンドウズ規定の DPI 値に固定する」が ON の場合は、起動マシンのディスプレイ設定の DPI 値を使用する(マシン環境が変わっても同様の表示・表現となる)。
- \* [ファイル]-[エクスポート]-[Web メルカトルタイル画像]で、透過色を指定できるようにした。
- \* [編集]-[編集作図]-[同一属性要素間アーク作図]で、「めがね線」オプション(円弧で作図する)チェックボックスを追加。
- \* [選択]-[選択ベクターのみ表示(非選択レイヤー非表示)](コマンド: [HideUnSelA](#))を追加。  
従来の「選択ベクターのみ表示」に対して、選択要素がないレイヤー要素も非表示となる。
- \* [属性]-[固有属性転記]でアークに関して、「ユニオン起点側からの距離」を追加。
- \* [ファイル]-[システムツール]-[画像処理]-[イメージ比較・差分抽出](コマンド: [ImageCompare](#))を追加。  
指定の 2 つの画像を比較し、異なるピクセルの箇所を画像にして表示する。  
フォルダーを指定して同一ファイル名の画像を比較する事もでき、PNG, TIFF, BMP, NAI ファイルが対象。
- \* Pcm.ini で、  
[\[PCMDatetime\]](#)  
[GengoMode=1](#)  
で、日付時刻型の元号表示に関して、Windows 認識の元号が表記されるようにした(将来的に、これがデフォルトになる予定)。
- \* [編集]-[レイヤー]-[図郭をデータ領域に変更]で、「レイヤ毎に、そのレイヤーのデータ存在領域に調整する」モードを追加。
- \* [編集]-[交点・ダブリアーク]-[交点ノード生成、ダブリアーク削除]で、「(ダブリアーク削除時)選択されているアークを優先して保持する」オプションを追加。

## 2017/12/25 [7.712]

- \* [属性]-[属性照会]-[ポリゴン属性照会]において、(見かけ上)構造化ポリゴンレイヤーであっても、同階層の他のポリゴンも検索し、重なっている場合、複数列挙できるようにした(シェープファイルをインポートした場合などに対応)。  
pcm.ini ファイルで、  
[PcmAttrInq]  
PolMultiInq=0  
この機能を抑制する事ができる。
- \* [ファイル]-[エクスポート]-[ベクトル(GeoJSON)タイル]に関して、複数レイヤーが指定された場合、出力レイヤー順を後書き優先になるようレイヤーの順番、重み、前景・背景を加味して出力するようにした。
- \* 16bit 階調の TIFF 画像の読み込みに関して、従来はデフォルトでは最大値で規格化して読み込んでいたが、最大・最小値で規格化して読み込むようにした。  
[属性]-[全データ検索]の[全データ検索]ダイアログボックスをモードレスとして、他の機能と併用できるようにした。
- \* **《ブックマークの自動保存、読み込み機能》**  
ブックマークは通常プロジェクトに保存され、読み出されるが、[表示]-[ブックマーク]-[ブックマークの整理]で「ブックマークの自動保存、読み込み」チェックボックスを追加。  
これが ON の場合は(そのプロジェクトだけでなく、すべてのプロジェクトに関して)、プロジェクト終了時(たとえプロジェクト自体が保存されなくても)プロジェクトファイル名+"\*.pcmbms"とした外部ファイルに保存される。  
次のプロジェクト読み込み時に取り込まれてプロジェクト内のブックマークを上書きする(サイズの大きいプロジェクトの利用時などに有効)。
- \* [ファイル]-[インポート]-[法務省地図 XML フォーマットデータ](コマンド: **ImportMinjiTizu2**)に関して、専用ダイアログを出して設定、取り込みができるようにした(従来のコマンド: **ImportMinjiTizu** も使用可能、アプリケーションメニューのカスタマイズをしている場合は、このメニューに関しては改めて設定する必要あり)。
- \* [設定]-[タイル形式画像背景表示設定](コマンド: **RasterTileUrl**)を追加。  
地理院タイルと同様の形式で格納された画像ファイル群をズームレベルに応じて背景表示する。
- \* [選択]-[個別選択]-[アーク路線選択](コマンド: **SelArcNet**)を追加。  
始点、終点ノードを指定して、その間を最短経路で結ぶアークを選択状態にする。
- \* [作図]-[補間点操作]に関連して、
  - コマンド: **BoOpMove...** 補間点(ノード)移動
  - コマンド: **BoOpAdd...** 補間点追加
  - コマンド: **BoOpDel...** 補間点削除を追加。  
それぞれ独立して、マウス左ボタンでの操作ができる。



## 2018/02/15 [7.713]

- \* ADO 接続文に関して、%variableName%の環境変数文字列の部分を、その環境変数の現在の値に置き換えて実行されるようにした。
  - \* [ファイル]-[システム環境]-[システム環境設定]-[ドッキングバー]パネルで、「フローティング・移動の禁止」を試験的に新設。メニューバーとツールバーのチェックボックスを追加した。
  - \* [ファイル]-[システム環境]-[システム環境設定]-[操作 3]パネルで、
    - 「辞書 DB の検索を当該プロジェクト内の DB に限定して高速化する」チェックボックスを新設。レイヤーの内部属性にリンクするものや他のプロジェクトの DB にリンクするケースでは使用できない。大量に辞書 DB を使用する場合などプロジェクトの起動時などの高速化に有効。
    - 「リンク切れ外部ファイル「保全」モード」を新設。従来 ini ファイル制御していたものを明示的に利用できるようにした。

《参考》

プロジェクト起動時に外部ファイルが(ファイルが存在しない等で)読み込まれなかったケースに関して、従来は、そ旨メッセージを出して、読み込まれたものだけのプロジェクトを生成していた。この場合、プロジェクトを保存すると、読み込まれなかった外部ファイルに関する情報はプロジェクトから抹消される。Pcm.ini ファイルで、

```
[PcmApp]
BrokenLinkMode=1
```

を設定する事で、読み込まれなかった外部ファイルのレイヤー、データベース、描画パラメーターに関して外部ファイルの情報のみを保持した空のレイヤー、データベース、描画パラメーターを生成してプロジェクトに登録し、このプロジェクトが保存される際、外部ファイルの情報が保全されるようにした。

なお、この空のオブジェクトはプロジェクトワークスペースでは【BROKEN LINK】でマークされたパス名が表記される。
  - \* NetView の[ネットワークデータファイルを開く]ダイアログボックスに関して、ini ファイルで
- ```
[NetViewDlg]
DisableFlags=7
```
- を追加する事で、URL のエディットボックス、<更新>ボタン、<設定>ボタンをディisableできるようにした。
- \* プロジェクトワークスペースの表示項目に関して、当該プロジェクトのキーリストで
    - NoPwsLayer...レイヤー
    - NoPwsDispMode...表示モード
    - NoPwsRender...描画パラメーター
    - NoPwsEnv...環境
    - NoPwsDb...データベース
    - NoPwsWai...広域イメージ
    - NoPwsWaline...広域ベクター
    - NoPwsPicture...背景ピクチャー
    - NoPwsHMesh...標高メッシュ・TIN
    - NoPwsBkMgr...背景プロジェクト
    - NoPwsKeyList...キーリスト
    - NoPwsMemo...メモ
    - NoPwsWms...WMS/WMTS
    - NoPwsCLP...ポイントクラウドそれぞれを 1 にセットする事で、項目を非表示となるようにした。
- \* タスクバーの設定ファイル pcm.ptsk を起動時にロードする際、pcm.ptsk.add1～pcm.ptsk.add9 までのファイルがあれば、それを読み込んでページ単位に追加されるようにした。
  - \* [ファイル]-[システムツール]-[イメージ変換]-[イメージの統合・再構成]で、開かれているプロジェクトの背景ピクチャーも指定して統合できるようにした。
  - \* [ツール]-[標高メッシュ効果・解析]-[フィルター・地形解析]でのフィルター機能に
    - 3X3 ガウシアンフィルター
    - 5X5 ガウシアンフィルター
    - 3X3 LOG(Laplacian of Gaussian)フィルター
    - 5X5 LOG(Laplacian of Gaussian)フィルター
    - 平均曲率を追加した。